

1) 着目した豊かさの要素・要件

回答欄：**移動時間によるロス・移動時間中の価値づくり**

2) 豊かさの要素・要件が生まれた背景や要因

回答欄：**これまでの移動**

- ・目的のために移動しなくてはならない
- ・移動中は、移動以外のことが制約される

これからの移動

- ・自動運転やSociety5.0社会の深化
- ・移動中の内容・体験を如何に広げるか
→情報収集時間、 →エンタメ体験

3) 着目する豊かさの要素・要件を阻害するコト・モノ

回答欄：**阻害要件：移動のためだけの時間ロス**

豊たかにする要素：移動のロス最小化＋移動中・移動先で出来ることの拡充

→移動しながらテレワーク／買い物／情報発信・収集

→ex) 大規模商業施設を歩き回った後、端の店まで移動して戻らなくても、VRやECで買い物できる／回遊モビリティに乗りながらその日に見たものを買い物できるなど。

(自動運転等モビリティ+テレ●●などによる解決)

1) 人間が長寿化することにより起こるであろう個人の変化

- 回答欄：**・労働年月の延長60リタイア→80リタイア（リタイア後に持つ時間は変わらない？）**
・からだ動きにくくなってから（衰えてから）自由時間が増える？
・80まで元気である必要が出てくる（仕事のためにも、家庭のためにも）

2) 人生100年時代の個人の変化によって生まれるであろう新たな移動・モビリティ

- 回答欄：**・自らの運転に頼らない、リタイア後の移動手段の確保（自動運転など）**
→ラストワンマイルの多様性（電車・バス・タクシー以外の手段）
→パーソナルモビリティの拡大・充実化が必要になる？
・一方で自動運転実現により、個人所有のモビリティの重要性は低下？
→シェア概念のコモンセンス化

3) 人生100年時代には、移動・モビリティのどのような側面・性質が重要となるか

- 回答欄：**・ECやテレワークの普及により、移動・動くことの目的がないと移動が起こらない**
→移動する／しなくてはいけない目的をつくること
（外にコミュニティやアクティビティをつくるなど？）